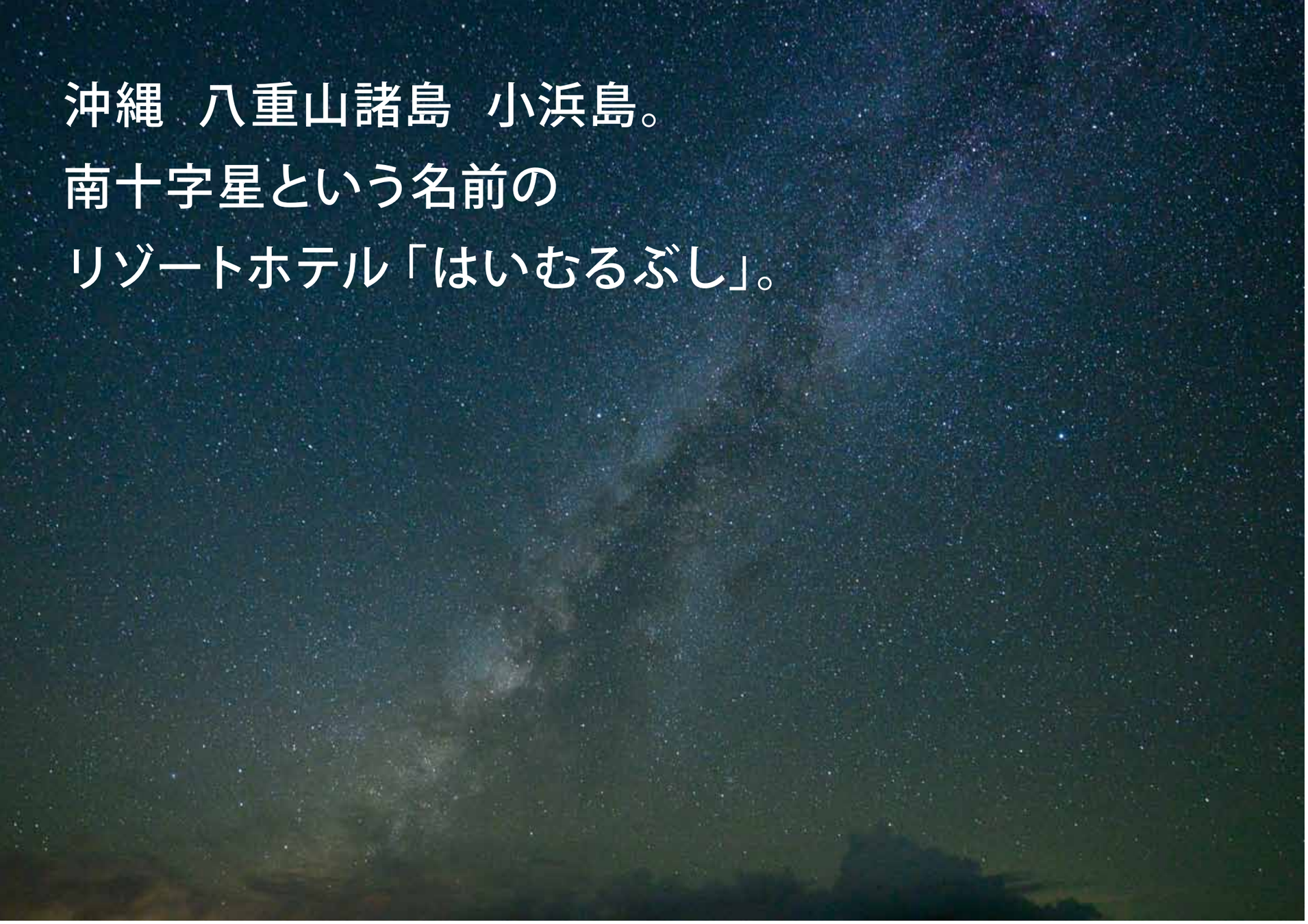
南十字星が見える島には、
あなたの可能性が拡がっています。

株式会社はいむるぶし
〒907-1221 沖縄県八重山郡竹富町小浜 2930
0980-85-3111
hmb-soumu@haimurubushi.co.jp

はいむるぶし
Kohamajima



沖縄　八重山諸島　小浜島。
南十字星という名前の
リゾートホテル「はいむるぶし」。

地域と共存、自然と共生した
日本のリゾートホテルの先駆け。

東京から石垣まで約2000km。八重山諸島は、沖縄本島からさらに南に400km、北緯24度線、ハワイ諸島と同緯度に位置します。小浜島は八重山諸島のほぼ中央に位置し、世界有数のサンゴ礁に囲まれた島。コバルトブルーの美しい海、真っ白な砂浜、亜熱帯の豊かな自然が広がる、まさに楽園です。「はいむるぶし」は地域と共存共栄、自然と共生した日本のリゾートホテルの先駆けとして1979年にオープン。まだ余暇を楽しむという概念がなかった時代から、豊かな自然の中で心を解放させる、新しいライフスタイルを提案してきました。

2007年に三井不動産グループとなり、2011年には沖縄の言葉で「命の薬」という意味の「ぬちぐすい」リゾートをコンセプトにリニューアルを行いました。「ぬちぐすい」とは、心地よい波音や鳥の声を耳にしたとき、心に深くしみる美しい風景と出会ったとき、美味しい料理を口にしたときに使う沖縄の言葉。癒しや喜びで、心がほどける感覚をあらわしています。「はいむるぶし」の敷地は40万㎡、そのすべてが国立公園内、沖縄本島では失われつつある手つかずの自然が残されています。八重山地方の伝統・文化・自然を活かした滞在空間、地元の食材を使った体に優しい料理、そしてスタッフの笑顔でのおもてなしが、「はいむるぶし」でしか提供できない特別な時間を作りあげています。

「あなたに、会いに来たよ」と、
全国からお客様が帰ってこられます。

お客様の目的の一つは顔なじみのスタッフと再会すること。レセプションでは笑顔で「お帰りなさい」とお迎えします。お客様との距離の近さが、はいむるぶしの特徴の一つ。スタッフ全員がお客様との会話を楽しみ、時には一緒に穴場のスポットでダイビングをしたり、星空を眺めたりすることも。私たちが日ごろ感じている小浜島の美しさをお伝えし、同じ体験・感動を共有することで、素晴らしい滞在をプロデュースしていきます。
私たちが営んでいるのはサービス業ではなく、おもてなし業です。サービス〈service〉とは「奉仕する」、「仕える」という意味を含む言葉。主従の関係ではなく、お客様と対等の関係で、スタッフ一人ひとりが主体的に「どうしたらお客様に喜んでいただけるのか」を考え、行動していくのが、私たちのスタイル。マニュアルでは提供できない「おもてなし」の集合体が、「はいむるぶし」なのです。開業当時から勤務しているベテランスタッフもいれば、10代のスタッフもいます。はいむるぶしや小浜島に寄せる思いは多種多様。仕事に対しての取り組みには多くのことを学ぶことができます。当社は、社歴や年齢に関係なく手をあげた人にチャンスを与えていきますので、若いうちからダイナミックなプロジェクトに携わることも可能。仕事の枠を定めず、いろんなことにチャレンジしてください。

常に新しい価値を世の中に提案する。それが「はいむるぶし」の DNA です。

代表取締役社長
渥美 真次

「豊かな八重山の海と空に囲まれ、島ならではのゆったりとした時間を過ごす。そんな新しいライフスタイルを提案したい」。私が大切にしているのは「基本を大切にする」と「一歩前へ」の2つ。「基本」とはホテルの基本である安全、整理整頓、清掃清潔、挨拶などを徹底すること。「一歩前へ」は現状に満足するのではなく、社員も、会社も常に成長していくことです。例えば社員160名が何か一つ新しいことを発信していけば、会社として160の新しい試みが実現したことになります。基本を大切にしながら、全員が一歩前に進んでいくことで、進化を続けていけるのです。スタッフ一人ひとりが欠かせない大切な存在です。

お陰様で、はいむるぶしは口コミサイトでもトップクラスのランキング。新石垣空港やLCCの就航などの追い風の中、さらに客室稼働率、ADR（売上÷利用客室数）などの指標を高め、スタッフの満足度でも八重山でNo.1、そして沖縄でNo.1のホテルになることを目指しています。ホテル業界は、例えば小浜島のようなリゾート地で生活したり、普段は出会えないVIPや政治家をおもてなししたりなど特別な経験ができる業界。何よりも、多くのお客様と出会うことで、いろんな価値観に触れ、視野を広げることができます。あなたの可能性をはいむるぶしで拡げてみませんか。

社員一人ひとりに寄り添い、個性や能力を最大限に引き出していく人事制度・教育制度。

評価制度

基準が明確な成長支援制度の導入。

会社が期待するあるべき姿、身に付けるべき技術や知識の基準を職種別・階級別に細かく設定。何をどうすれば評価されるのかが明確になっており、3年後、5年後、10年後をイメージすることができます。

キャリアプラン

幅広い仕事を担当し、自らキャリアをデザイン。

年1回の自己申告書により、社員一人ひとりの「やってみたい」など、志向や気持ちの変化をいち早くキャッチし、キャリアデザインをバックアップしています。レセプション、レストラン、予約受付、管理などの他にも、ウエディング、設備、農園など幅広い職種を経験することが可能。幅広い仕事を経験し総合的なホテル経営のスキルを身に付けていく道、一つの仕事で専門性を高めていく道。あなたの志向にあわせたキャリアの作り方ができます。

研修制度

入社後は接客部門をローテーションで学ぶ。

導入研修は社会人に求められるビジネスマナー・心構えなどを学び、各部門長から部署の紹介や仕事内容についての説明を受けます。その後、接客部門の各セクションをローテーションで経験。適性にあわせて配属ポジションを決定します。

階層別研修。

入社後5年をめどに、まず主任を目指していただきます。主任昇格にあわせて考課者研修、マネジメント研修を実施。メンバーのモチベーションを高めるスキルを学びます。

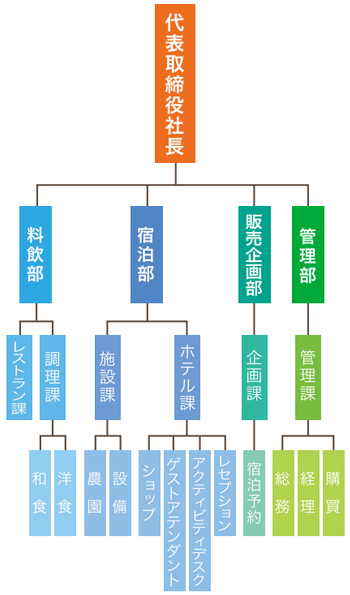
新しい研修を積極的に取り入れる。

常に進化していくため、新しい取り組みにも積極的です。例えばある年は、新しい研修として以下のプログラムを取り入れました。

「チームビルディング研修」… ホテルは、各自が自分の強みを把握しながら一つのチームとして連携して、お客様をおもてなします。異なる価値観を受け入れながら、チームとして最大のパフォーマンスを発揮するための研修です。

「アンガーマネジメント研修」… 怒りの感情について考えることで、自分の考え方・感情・行動なども深く知ることが目的です。管理職は部下の指導に活かすことができ、働きやすい環境づくり、組織の生産性の向上を図っていきます。

はいむるぶしの組織



顧客満足度とともに従業員満足度の高いホテルを目指しています。
代表取締役社長・渥美（写真右）、採用担当・松永（写真左）

企画課
企 画

お客様の一生の思い出づくりを
企画から実行までプロデュース。

ホテル課
レセプション

キーワードは『ワンモア・サービス』。
自分たちのアイデアで、最高のおもてなしを。

販売企画部　企画課　主任　**平間 明日香**

宮城県出身。専門学校卒業後、東京の大手旅行会社に入社。
ツアーの企画と添乗を経験。ダイビングが趣味。日本各地を添乗して周っているうちに休日に島に行くより、島を拠点とする生活に挑戦したいと小浜島へ。

お客様との最初の窓口です。

集客のためのオフィシャルサイトの制作を始め、日々、予約通知をチェックし疑問点があれば旅行会社に問い合わせたり、旅行会社や個人のお客様からの電話やメールでのお問い合わせに応えたり、予約や食事の手配を行ったりするのが宿泊予約の仕事。お客様にとっては、はいむるぶしのいちばん最初の窓口となり、予約からアウトするまでのサポートを行うポジション。『なぜ、お客様がこういうご要望をされるのか』。お客様の想いを引き出し、各セクションに伝えていくのも私たちの使命です。

自分のアイデアをカタチにすることができる。

リピーターのお客様にサプライズで何か喜んでいただけるようなものがないかという課題の時には、ホテル限定で非売品のバッグをチェックインのときにお渡しするのが良いのでは?と提案しました。私の想いをCS（お客様満足度向上）委員会が形として実現してくれ、お客様に喜んでいただいています。いま提案しているのは雨の日も楽しく過ごしてもらうための特別な傘。例えば大きな葉を傘代わりに持ってもらって、記念写真をSNSにアップしてもらう企画。アイデアがカタチになっていくことに、やりがいを感じます。

はいむるぶしを一生の思い出となる場所に。

結婚記念日や古希のお祝い、ハネムーンや三世代揃っての家族旅行など、大切な思い出の場所として、はいむるぶしを選ばれるお客様が増えています。お客様の「いいプランはないですか」というご要望に対し、他の部署を巻き込みながら企画から実行までをプロデュース。例えばプロポーズの手紙を読みたいというお客様にはレセプション、レストランと連携し、お客様が少ない時間にレストランへご案内し、スタッフが集まって祝福。感動的なシーンに私たちも胸が熱くなります。

小浜島での暮らしも楽しんでいます。

前職の旅行会社で、はいむるぶしで昼食を利用したことがあり、笑顔や挨拶などの基本がしっかりしていて、宿泊客でもないお客様に温かく対応してくれた印象が強く残っていました。沖縄の島で働きたいと考えた時にサービスのレベルが高く、転勤がなく地域密着で長く続けていける「はいむるぶし」は理想の場所。寮の仲間とのバーベキューや誕生会などのイベントのたびに集まったり、カヤックやダイビング、美しい風景を撮影したりと楽しんでいます。社内で人生のパートナーも見つけました。

宿泊部　ホテル課　主任　**中尾 貴広**

福岡県出身。工学部機能材料学科卒。大学時代の友人の影響で沖縄に魅せられ「南国で働く」日々に憧れを抱きはじめた。
一度は地元の福岡で公務員になることも考えていたが、はいむるぶしで働くことを選び、現在に至る。

お客様と向き合って、心尽くしのおもてなしを。

お客様をおもてなしし、滞在中の日々を心ゆくまで楽しんでいただくことがレセプションの役割。チェックイン、チェックアウトをはじめ、レストランやアクティビティのご予約、様々なオーダーやお問い合わせへの対応など、仕事内容は多岐にわたります。ハネムーン中のご夫婦には「おめでとうございます」とお声掛けしたり、釣竿をお持ちのお客様にはおすすめの釣りポイントをお教えしたり。お一人お一人に向き合ったサービスを心掛けています。

マニュアルではなく、ホスピタリティを軸に。

私たちのサービスは、マニュアルではなく、スタッフ一人ひとりのホスピタリティから生まれるもの。個々のアイデアとチームワークを活かし、私たちならではの『ワンモア・サービス』を心掛けています。月に1度のミーティングでは業務改善や新たな試みについて意見を出し合い、常にサービスのブラッシュアップを目指しています。リーダーである私は、スタッフたちの育成やマネジメントも大切な仕事。若手スタッフたちが発言しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

＋αのアイデアで、笑顔の瞬間を演出。

ある新婚のお客様からの『妻を驚かせたいので外出中にプレゼントを部屋に置いてほしい』というご依頼には、花でハート形をあしらうという演出をプラス。とても喜んでくださいました。あるご家族がルームチェンジの際、お子さまが大切にされているぬいぐるみにメッセージを添えたところ、お子さまが「中尾さんにありがとうと伝えたい」とフロントに来てくださったことも。自分たちのアイデアでお客様にかけがえのない瞬間をご体験いただけることが、私たちの喜びです。

家族の歴史を、小浜島で紡ぎたい。

大学時代に沖縄本島出身の友人がいて、毎年のように沖縄に遊びに行っていました。南国特有の気候や美しい海に惹かれて、こんな場所で働きたいと思ったのが、当社で働くきっかけです。4年前には職場結婚し、双子の長男&次男にも恵まれました。現在『イクメン』として奮闘中!釣りが好きでクルマより先に船を買い、時間ができたら船を出して大物を狙ったり、友人たちと海で泳いだり楽しんでいます。最近は、上司に誘われて始めたカイトサーフィンにもハマっています。

レストラン課
レストラン
スタッフ

レストランで、お客様と、働くスタッフの最高の笑顔を作りたい。

調理課
調 理
スタッフ

もっと沢山のことを学んで、もっとお客様を喜ばせたい。

料飲部　レストラン課　**和田　悟**

奈良県出身。地元の飲食チェーンで店長を務める。お客様目線に立っていない会社の利益重視の考え方とあわずに退職。
たまたま離島で仕事ってどんなのがあるんだろうと探していた時に出会ったのが、はいむるぶし。家族とともに小浜島へ移住。

覚えることが沢山あって、飽きない仕事。

はいむるぶしにはクラブダイニング、グリルダイニング、ブッフェダイニングと3つのレストランがあり、それぞれ接客も変えていく必要があります。食材、調理法はもちろんワインやカクテルなどドリンクの知識、テーブルマナーなど覚えることも沢山あり幅広い経験がつめます。また一人ひとりの「やりたい」という意思を大事にして挑戦を応援する社風。私はサービスを経て、現在は予約受付、シフト管理などスタッフをまとめる立場。常に変化があり、私には合っている職場です。

お客様の笑顔をたくさん作れる場所。

レストランではお客様と1～2時間と長く、深く、お付き合いしていきます。お料理を提供する時や食器をさげる時に、小浜島のお薦めスポットについてお客様から質問されたり、こちらから「この魚は、ここで見られますよ」とダイビングのポイントをご案内したり、会話が楽しい接客です。たとえホテル内でトラブルがあったお客様でも、美味しいものを食べて、美味しいお酒を飲んで、楽しい話をして、お帰りになられる時は笑顔に。レストランでしか、できないことだと思います。

ある意味、お客様と対等な立場でサービスする。

晴れた日の夕食時間には、仕事を忘れるくらい美しい夕陽を見ることができます。都会には夜景が綺麗なレストランも多いと思いますが、人工的なものではなく自然の景色でお客様が喜んでくださる、私たちのレストランはとても特別な場所なのです。従業員とお客様がいい意味で対等なのが、はいむるぶしのサービス。スタッフには、ただ料理を提供するだけではなく、小浜島や石垣島、八重山地方の情報などを発信し、お客様の滞在を豊かで思い出深いものにしていく役割もあるのです。

仕事を楽しむためには、まず生活を楽しむ。

私は家族で小浜島に移住しました。妻はヨガのインストラクターなので時々、教えてもらったり、子どもを連れて小学校へ行きヤギと遊んだりと家族で島の生活を楽しんでいます。私は、休日はほとんどシュノーケルやSUP。天気がよければ休憩中でも海に行っています。風が強い日はウインドサーフィン、カイトサーフィンもできますし、海だけではなく星や自転車など、小浜島には楽しめることが沢山あります。趣味をもって楽しんでいる人の方が、仕事も充実していますね。

料飲部　調理課　**菊地可澄**

東京出身。専門学校のパン科を卒業、カフェに就職。お菓子に興味を持ち、その道を究めるため朝から終電まで作り続け、
好きな旅行にも行けないハードな日々で体調を悪くし退職。20 代のうちに一度は島で暮らしたいと移住を決意。人の魅力に惹かれてはいむるぶしに入社。

パティシエの仕事は製菓だけじゃない。

パティシエはブッフェやコースのデザート、アニバーサリーケーキ、ウェディングケーキなどを担当しています。時にはプロポーズ用の特注ケーキなどのオーダーもあり、オリジナルで作り上げていくので大変ですが楽しいです。調理課は和食と洋食に分かれていて、私の配属は洋食部門。パティシエをやりながらオードブルやサラダも手掛けています。はいむるぶしは、和食も洋食も同じ厨房。和食部門と連携してお客様にお料理を提供していくので学べることが多いです。

自分のアイデアを活かせるのが嬉しい。

「美味しくすることなら、どんどんやって!」という方針ですので自分のアイデアが活かせます。毎日、ブッフェデザートを工夫して変えていき、だんだん自分のレシピのものが多く並ぶようになりました。レストランのスタッフが「盛り付けがキレイだと喜んでいらっしゃった」とか「美味しいっておっしゃっていた」などお客様の反応を伝えてくれます。考えるのは時間がかかりますが、考え抜いて良かったと思う瞬間です。もっと工夫して、美味しいデザートを提供していきたいです。

いかにリピーターのお客様を喜ばせるか。

新しいことにチャレンジできるのが嬉しいです。私は入社して初めてコースのデザートを担当。はいむるぶしはリピーターのお客様が多いのが特徴で、1回の滞在で3日間連続コース料理を召し上がられるお客様もいらっしゃいます。料理長と相談しながらデザートを毎日変えて提供していきます。「デザートがケーキなら、その前は軽めのメインに」、「肉料理の後のデザートはフルーツに」など、コースの組み立てや全体的な盛り付けまで手掛けられるのが嬉しいし、勉強になっています。

島の暮らしは、快適で楽しい。

休日はいつも石垣島に渡り、美味しいものをお昼に食べて、買い物して小浜島へ帰ってきます。会社の補助でレンタカーを半額で利用できるのでたまにはドライブも。寮から港までの送迎バスもあり、クルマがなくても不便さは感じません。寮での生活も楽しいです。誰かが飲んでいるとみんなが集まってくるし、新しいバーベキューデッキも居心地がよく夏はBBQを楽しんでいます。クラブ活動も盛んで、私は海で月を見ながらSUPをする「月光SUP」が好き。参加して癒されています。

ホテル課
ショップ

『小浜島ならでは』&『はいむるぶしならでは』の商品に出会える、楽しいショップを目指す。

管理課
総 務

入社１年目から、幅広い裁量を任されて自由なアイデアで仕事を生み出す。

宿泊部　ホテル課　ショップ係　店長　**荒木 紘史**

埼玉県出身。大学では哲学を専攻。旅行会社勤務を経験し、退職後は小浜島に。
ドライバー、ゴルフ場のレジャースタッフなどを経験後、2009 年、お客様だけではなく島の方々からも愛されるはいむるぶしの仕事環境に惹かれ転職。

多彩なラインナップで、旅の思い出を彩る。

ショップ担当として接客やディスプレイ、商品選定や在庫管理、仕入れ業者との交渉などに携わった後、現在は店長として売上管理や業務管理などマネジメント領域も手掛けています。ショップは店内も広く、商品ラインナップが多種多彩なのが特徴。スタッフ各自が担当の仕入先を持ち、商品の選定や棚のディスプレイなどに自分の考えを活かしています。島にはお土産を買えるショップが少ないので魅力的な商品をご用意し、お客様のニーズにお応えしていきたいです。

自分たちの手で、オリジナル製品を開発！

年々、『小浜島に来たからこそ、はいむるぶしに来たからこそ、手にできる商品』の人気が高まっています。沖縄ならではのちんすこうや紅芋タルトは人気が高く、私たちもたくさんの種類をご用意していますが、今後は定番の商品に加え、オリジナル商品の開発にも力を入れていきたいと考えています。スタッフのアイデアを取り入れて、「大切な人のお土産にしたい」と思っていただけるような商品を作りたい。販売だけでなく、商品企画などにも仕事の幅が広がっています。

責任は重大。だからこそ、面白い。

店長として課長以上の役職者が集まる会議にも出席し、ショップに対する会社の期待を実感しながら、よりよい組織づくりに取り組んでいます。ショップ係は少数精鋭型のチーム。だからこそ、一人ひとりが能力や個性を発揮できる組織を作っていきたい。毎日の終礼で「お客様の満足度をどう高めるか」というテーマについて思いを共有。売上アップはもちろん一人ひとりが仕事を楽しみ、チームワークを大切に仕事に取り組める風土を作るのが、店長の重要な仕事です。

休日も息子にせがまれ、はいむるぶしへ。

妻と息子、娘で、にぎやかに家族4人の暮らしを楽しんでいます。海が好きで、釣りやスノーケルといったマリンスポーツはもちろん、海岸沿いの道を散歩することも好きなので、最近では家族で散歩するひとときに癒されています。休みの日に息子と一緒に、はいむるぶしに遊びにくることも。農園のハーブやヤギ、カメなどを見て夢中になって遊んでいます。オンもオフもはいむるぶしで過ごす時間が多いですね。ショップで買い物して、売上にも貢献しています（笑）。

管理部　管理課　**武井 未来**

群馬県出身。子どもの頃にみた TV ドラマをきっかけに家族とともに沖縄旅行へ。
そこで宿泊したのが、はいむるぶし。この経験をきっかけに沖縄が大好きになり、大学では観光学を専攻。卒業後、当社へ入社。

幅広いから、面白い！　総務の仕事領域。

管理課は総務、経理、人事などを担当し、はいむるぶしのホスピタリティを支える部署。私は総務の担当と代表電話の対応や荷物の受け取り&仕分けといったデイリーの業務や、毎月の給与計算や振り込み手続き、人材採用業務や新人サポートまで多彩な仕事に携わっています。中でも楽しんでいるのが採用活動。新卒入社したばかりの私だからこそ、学生の方々の気持ちに寄り添える。そんな思いで、最近では会社説明会を行うため東京や大阪など各地を飛び回っています！

入社1年目から、自由にアイデアを発信。

若手も自由に意見を出せるのが、はいむるぶしの魅力。私も様々な場面でアイデアを発信しています。「もっとこうしたら効率が上がるんじゃないだろうか」という気付きは、すぐに課長や社長に直談判。給与計算で少しアナログなプロセスを踏んでいるなと感じたので提案して業務効率化を図ったり、寮についても「こういう備品を取り入れてほしい」とお願いして環境改善につなげたり…。遠慮なく発言してしまっているのですが、そんな姿勢を歓迎してくれるのが嬉しいです。

経営陣のそばで、幅広い裁量を担う。

入社1年目ですが、既に幅広い裁量を任されています。緊張感もありますが、楽しさのほうがずっと大きいですね。新卒者の採用にはトータルに関わっていますし、求人広告を出稿する媒体の提案や、社員用の研修プログラムの企画～セッティングなども、入社半年前後で経験しました。経営者との距離の近さも当社ならでは。総務である私は社長と顔を合わせる機会も多く、経営者の視点や会社が大切にしている想いなど、身近で知ることができる貴重な経験を積んでいます。

休日はマンタと一緒にひと泳ぎ！

子どもの頃、家族と一緒にはいむるぶしに宿泊。美しい海と満天の星空にすっかり魅せられたことが、私の原点。大人になってからは沢山の離島を旅行で周り、『沖縄好き』になったきっかけの地で、働きたいと入社しました。今は寮生活です。従業員食堂で島のお母さんが作るボリュームたっぷりの食事を毎日たべることにより、栄養の管理もしっかりできています。休日にはダイビングをして、マンタと泳ぐのが楽しみ。美しい景色に最高の癒しをもらい、島での生活を満喫しています！

kohamajima

小浜島の暮らしFAQ

石垣空港からバスで石垣港へ。
高速船で約25分、瑠璃色の海にうかぶ小浜島に到着です。
爽やかな風が吹き抜けるサトウキビ畑、
亜熱帯特有の植物、美しい花々、赤瓦の屋根の上のシーサー、
今まで見たことがない風景が広がっています。
小浜島で働き、暮らすことを楽しんでください。

Q.1
小浜島って、どんな島ですか？

A.1
人口は約600名、
面積7.82km²、周囲16.57km。
冬から初夏にかけて
水平線の近くに
「南十字星」を
見ることができます。

Q.2
寮はありますか？

A.2
ホテルから5分のところに
社員寮があります。
もちろん個室で
ランドリールームも完備。
家族をお持ちの方には
借上社宅を貸与
（敷金等は不要）。

Q.3
生活費はどのくらいかかりますか？

A.3
食費は毎日3食を従業員食堂を利用した
場合（朝食200円 昼食・夕食350円）で、
月約2万8000円。
寮費は月額6500円～8500円
（水道光熱費無料）。
コンビニもないので、ムダ使いをしなくなり、
おこづかいが増えたという
社員も！

Q.4
買い物はどこですればいいですか？

A.4
社員のほとんどは休みの日を利用して、
石垣島の商業施設でお買い物。
荷物は店舗から直接、高速船に
積んでもらえ、小浜島でピックアップ。
他にもネットショッピングを
利用したり、主な日用雑貨は
島の商店で揃います。

社員の小浜島・お薦めスポット
1
「はいむるぶし」
休日も子どもを連れて
遊びにきています。

社員の小浜島・お薦めスポット
2
「海人公園（別名マンタ公園）」
西表島側に沈む
夕陽の景色は
絶景。

社員の小浜島・お薦めスポット
3
「ヨナラ水道」
ジーティー（ロウニンアジ）という
大物が釣れます。
島と島を回遊するマンタの
通り道です。

社員の小浜島・お薦めスポット
4
「石長田海岸」
マングローブ林の
景色がお薦め。
ピクニックにも最適

社員の小浜島・お薦めスポット
5
「小浜港に下る坂道」
道の途中でパーッと
海が開けて
感動します。

社員の小浜島・お薦めスポット
6
「ゴルフ場」
空いていて
最高です。

社員の小浜島・お薦めスポット
7
「コーラルビーチ」
静かで美しい
穴場のビーチ。

Q.5
やっぱり沖縄出身の人が多いんですか？

A.5
意外に思われるかもしれませんが、
はいむるぶしのスタッフの
80%が県外出身者。
北海道、東京、神奈川、
愛知、大阪、兵庫、山口など
全国から集まっています。

Q.6
休みの日は、何をして過ごしていますか？

A.6
お買い物か趣味を楽しんでいる社員が
多いです。島内の散歩やサイクリング、
ダイビング、スノーケル、カイトサーフィン、
カヌー、カヤック、釣り、写真、
ゴルフ、天体観測、ヨガ、三線、
エイサーなど楽しめます。小浜島に
住んだら自然と趣味が
増えます。

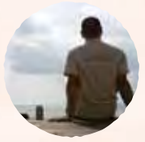
Q.7
うまく会社や小浜島にとけこめるか不安です。

A.7
心配ありません。ほとんどの社員が寮生活。
定期的にスタッフバーを開催！
はいむるぶしのスタッフなら誰でも参加でき、
あっという間に仲良くなれます。
バドミントン、SUP、ゴルフ、
エイサー隊、三線など
クラブ活動も盛んです。

Q.8
小浜島にきて、何がいちばん変わりましたか？

A.8
通勤途中で見た夕日の美しさ、
朝日のすがすがしさ、
移り変わる海の色、風の爽やかさ、
地元のおじい・おばあの笑顔など、
心が解放される時間が
増えました。

山田のある休日



- 5:00 起床。まずビーチで南十字星を探し、見つけたら撮影も。
- 7:00 部屋に戻って、今日は特に約束がない日だから、石垣へ。
- 9:00 石垣へ到着。クルマを借りてドライブ。川平湾や平久保崎展望台へ。小浜島とはまた違う景色が広がっています。
- 12:00 ドライブの合間に、ランチ。
- 14:00 小浜島へ帰って、一休み。
- 15:00 今日は久しぶりにスノーケルへ。
- 17:00 ビーチで海を見ながらのビールは最高。
- 18:00 寮に戻って、バーベキューに参加。
- 21:00 再びビーチで星を観る。明日も晴れますように。

小浜島の暮らし 独身編

山田 正行 宿泊部　施設課設備

大阪府生まれ。ガス会社に入社し7年勤務後、リゾートで働いてみたいと小浜島へ。1年後に大阪に戻り、ビル管理会社で7年勤務し退職。再び小浜島に戻り、はいむるぶしに入社。

はいむるぶしを選んだ理由

私にとっては2度目の小浜島です。はいむるぶしは、今まで身に付けた設備の経験が活かせること、寮が完備されていて住まいの心配がないことが魅力でした。私は客室で不具合が起こった時の対応も行っていますが、お客様は穏やかな方が多くて、親しみをもって話しかけてくださいます。設備はベテランが多くて、みんなそれぞれ得意分野があるので、お互いに協力しあって仕事を進めています。転職して、園内を美しく演出する照明の取り付けなど、新しい仕事も経験でき、充実しています。

美ら星マイスターを目指して

大阪時代は、自然に触れることもなく一日中ビルの中で過ごす生活でした。小浜島に住んでから通勤時間も短く残業も少ないので、自由な時間が増えました。星に興味を持ったのは、時間に余裕ができたからです。八重山諸島は世界共通で認められている88星座のうち国内最多の84星座と21個の一等星のすべてを見ることができます。冬から初夏にかけては南十字星（はいむるぶし）も観測でき、天の川（てぃんがーら）は幻想的な美しさです。私は、お客様へも星の美しさを伝えたいと、八重山の星空をガイドできると公式に認められる「美ら星マイスター」を目指し、日々、星を見て勉強しています。

趣味が増えました。

大阪時代は、趣味といえるものは旅行だけ。小浜島で趣味が増えました。何か沖縄の文化に触れたいと思い、会社の三線クラブに入りました。社員に名人がいて毎週水曜日に食堂で練習しています。海が綺麗なのでスノーケルも十分楽しめます。熱帯魚も綺麗ですが、私は水と海の底の白い砂がきらめいているのを見るのが好きです。

生活にはほとんど困りません。

星を撮影するためのカメラ用品はネット通販で買えますし、日用品は休みの日に石垣で買いますので生活は困りません。困るのは、石垣で買い忘れたものがあった時に、すぐに買いに行けないことくらいです。寮で私は食堂を利用していますが、女性社員はほとんど自炊しています。庭では頻繁に誰かがバーベキューをやっているので自由に参加できます。そんな遊びからも交流が広がっていきます。

三線クラブは、
はいむるぶしの大晦日コンサートにも出演し、
お客様を楽しませています。

社宅のお姉ちゃんたちが、
よく一緒に遊んでくれます。
まさに家族ぐるみのお付き合いです。

はいむるぶしを選んだ理由

就職したのは都内のホテルです。レセプションで1日1000件近くのチェックイン・チェックアウトを担当。憧れの仕事で充実していましたが、とにかくお客様をお待たせしないよう、間違えないように機械のように対応していました。そんな日々に疲れ、リフレッシュしたいと初めて沖縄に訪れたのが小浜島。2泊3日の旅行ですっかり癒され、私もこんな場所で働きたいと転職しました。入社して驚いたのが本当にアットホームなこと。お客様との距離も近く家族のよう。従業員同士も離島環境の中で一緒に働き暮らしていくので、家族のような関係です。

小浜島で暮らして

通勤途中の景色の美しさに毎日、感動しています。リゾートで働くなんて、本当に贅沢な環境ですね。小浜島に来てから結婚し、子どもが生まれ、生活もより楽しくなりました。社宅に住んでいるお陰で、困ったら何でもすぐ相談できますし、時々、子どもを預かってもらったり、隣のお姉ちゃんに遊んでもらったりと本当に助かっています。幼稚園は、はいむるぶしの従業員、元・従業員など関係者が多く、子どもを通じて、コミュニティも広がりました。近所のおじい、おばあも気軽に声をかけてくれ、島らっきょうなど畑でとれた野菜を持ってきてくれる。本当に人が温かい島です。

子育てには最適な環境です。

お客様からも「おめでとう」と祝福していただき、2014年から2年間、産休・育休制度を利用。2016年から復職しています。社宅からホテルまでは車で5分くらいと職住接近で、通勤のストレスはゼロ。制度と家族や周囲のフォローもあり、無理なく仕事と家庭を両立できています。

「エイサー隊」として沖縄の伝統を継承しています。

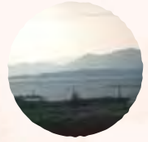
はいむるぶしはクラブ活動が盛んです。私は「エイサー隊」に入っていて、大晦日のイベントや結婚式や修学旅行でゲストとしてよばれて、多くの人に沖縄の文化を紹介しています。社員はみんなダイビングや釣りなど、趣味を持っています。中には趣味のカメラでステップアップして、いまプロとして活躍している人もいます。仕事と同じくらい、趣味も楽しむのが、小浜島のライフスタイルです。

小浜島の暮らし 家族編

鈴木　愛 宿泊部ホテル課

山口県生まれ。神奈川の短大を卒業し、都内の大手チェーンホテルに勤務。旅行で小浜島の魅力にとりつかれ、2008年にはいむるぶしに入社。小浜島で結婚し、現在3人家族。

鈴木家のある休日



- 8:00 起床。ちょっとゆっくり朝ごはん。
- 9:30 石垣に買い物へ出発。クルマに乗り込み港へ。
- 10:30 石垣へ到着。まずは大型スーパーで日用品・食料品をまとめ買い。
- 12:00 ちょっとオシャレなカフェでランチ。
- 14:00 小浜島へ帰る。荷物を受けとり家へ。
- 16:00 お天気がいいのでマンタ公園（海人公園）へ。
- 17:30 家に戻って夕食の準備。今日はフーチャンプルー。
- 21:00 子どもを寝かしつけると同時に、就寝。